



安元 慶彦 議員

「ゆいきらら」への今後の支援は

できるだけ援助していきたい



宿泊客からのお礼の色紙

問 「ゆいきらら」の3カ年の評価は。
川口総務課長 利用者数、事業内容も当初計画どおりできており、他の市町村からの行政視察も多く、マスコミなどにも取り上げられ、町のPRにも大きな効果があったのではないかと考えている。

問 町長の考えは。
坪根町長 条件の悪い中で一所懸命地域が結束してがんばっていると思う。しかし、これは事業である。もっと町内全域、道の駅や大平楽とも連携を図りながら売り上げを伸ばす努力も必要だと思う。



嘉麻市教育委員会研修対応

問 今後の考えは。
坪根町長 できるだけ町として援助していきたいと思っている。西友枝、東上は本町有数の限界集落で高齢化も進んでいるので、若い世代の後継者を育てていかなければならないと思っている。

地方創生施策への取組みは

問 この施策に対する町長の思いは。
坪根町長 基本的には、地域が知恵を絞り一つになって取り組んでいくことだと思っている。

問 企業誘致の取り組みは。
坪根町長 来年度はその方向へ一歩進めていきたい。

問 6次産業の推進状況は。
永野産業振興課長 ごぼう茶、ゆず加工品など数種目が6次産業化されている。

介護支援をどのように

問 平成27年4月から、要介護2以下は入所できなくなるが町としての対策は。
末松長寿福祉課長 要介護1、2の方は原則として、特別養護老人ホームに入所することはできなくなる。ただし、やむを得ない事情のある方は特例的に入所できる。

問 デイサービスなどは継続できるのか。
末松長寿福祉課長 継続できる。



問 在宅介護に向けての町の考え方は。
末松長寿福祉課長 特養に入所している方に対して、在宅復帰へ向けて支援をしている施設もある。例えば、自宅の環境に合わせた施設のケアプランを組み立てるなど、利用者が何を求めているかということを知りたい。一方でリハビリをしていき、状態を改善していくといったようなことは特養の施設の方に今後していただかなければならないことかと思っている。また、訪問介護や通所介護などの在宅サービス、それから介護予防事業も含めて支援を行いたい。特養もショートステイを最低10床もっている。活用して快適な生活を送っていただく。福祉用具なども活用していただきたいと思っている。

鳥獣対策のその後

問 6月定例会以降の進展は。
永野産業振興課長 処理施設建設について、8月に日田市の処理施設を視察し、引き続き検討を進めている。

問 年間300頭も捕獲しており、その間の対応も課題である。清掃施設組合に持ち込んでゴミとして処理することも可能ではないか。
永野産業振興課長 仮に処理施設ができていても全て処理は不可能。ゴミとしての処理も方法の一つとして考えられる。

問 捕獲しやすい環境も必要、捕獲員の軽減も考え、処分方法の検討をすべきでは。
坪根町長 各地で大きな問題になっていることは承知している。近隣首長と十分に協議検討する。



三田 敏和 議員

楽しい学校への対応は

百留教育長 手作り感のある文化祭を指示

問 2学期も終わろうとしているが、児童生徒の状況は。
百留教育長 表面的には平穏無事に進んでいる。しかし、課題が内在していることは事実で、一つ気になることは中学生の不登校である。起立性調節障害、過敏性胃腸炎などの症状があり、学習意欲がなくなっている生徒がいる。

問 不登校の実態は。
百留教育長 小学校で3名、中学校で12名である。

問 対応はどのようにしているか。
百留教育長 教え込むのではなく、自主的な学習を心掛けています。学校は面白い、楽しい場所にするよう指導している。中学では自らやり遂げる達成感を持たせるためにも文化祭の検討を指示している。

問 児童・生徒に対応するスクールカウンセラーは。
百留教育長 県から配備される人数では足りず、別府大学と契約して専門家の援助もいただいている。その他にSSW※という家庭訪問ができる方が別にいる。

問 相談する保護者は遅い時間を望んでいるが。
百留教育長 相談が多くて、それ以上のお願いは言いづらい。様子を見ながら検討する。

問 不登校以外で遅刻はないか。
百留教育長 昼頃登校する生徒がいる。学習に対する興味を失っているが、楽しい学習の創造は教師の責任でもある。

問 上毛SIIICと大池公園の連結は。
岡崎開発交流推進班長 当然、連結を念頭に構想策定している。しかし、今回示した図には連結のイメージは入っていない。

問 佐賀の武雄市図書館はツタヤが運営し、非常な反響がある。どういう施設にするかで決まるとは。
坪根町長 武雄のツタヤとスターバックスのコラボ、集客力としては十分。その辺を含めながら、PADに期待する。

問 PADの編成は。
今任副町長 年度途中で兼務職員だが、来期は事業実施に向け、体制を整える。

